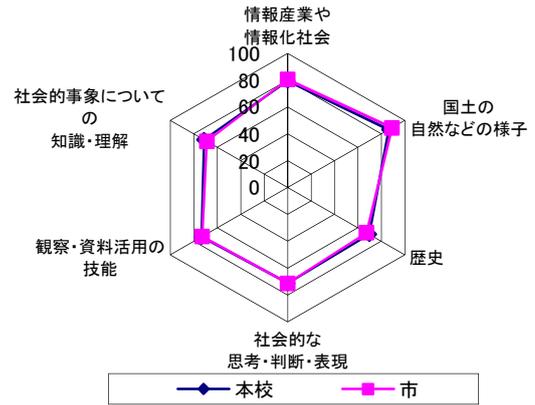


# 宇都宮市立岡本小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	79.5	80.5
	国土の自然などの様子	86.4	89.0
	歴史	69.6	67.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	71.3	71.3
	観察・資料活用 of 技能	73.6	73.1
	社会的な事象についての知識・理解	71.4	69.0



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	<p>・平均正答率は宇都宮市とほぼ同程度である。ただ、情報を伝える方法の特色や情報と産業の関わりについての問題では正答率が80%を下回っており、やや課題がある。</p>	<p>・社会の授業だけでなく、日常生活の中で、いろいろな情報手段の特色について触れ、その特色に応じた活用の仕方を考えさせたり、情報が活用されている場面を紹介したりすることによって理解を深める。</p>
国土の自然などの様子	<p>・平均正答率は宇都宮市よりもやや下回っているものの、ほとんどの問題において正答率が90%前後を示しており、おおむね定着していると言える。ただ、森林の働きを問う問題では「土砂崩れなどの災害を防ぐ」という働きをとらえていない誤答が目立った。</p>	<p>・重要事項を復習するとともに、自分たちの生活と環境との関わりについて、新聞の記事やテレビのニュースなどを紹介することなどによって、国土や自然に対する関心を高める。</p>
歴史	<p>・平均正答率は宇都宮市よりもやや上回っている。特に、歴史上の主な人物や出来事に関する知識を問う問題には、高い正答率を示しているものが多い。ただ、自由民権運動と関係の深い資料を指摘する問題では、宇都宮市の正答率を大きく下回っている。</p>	<p>・各時代の主な人物や出来事などについて確認するとともに、その人物が行ったことや出来事が、世の中や人々の生活をどのように変化させたのかについても、併せて確認させ、理解を深める。</p>